

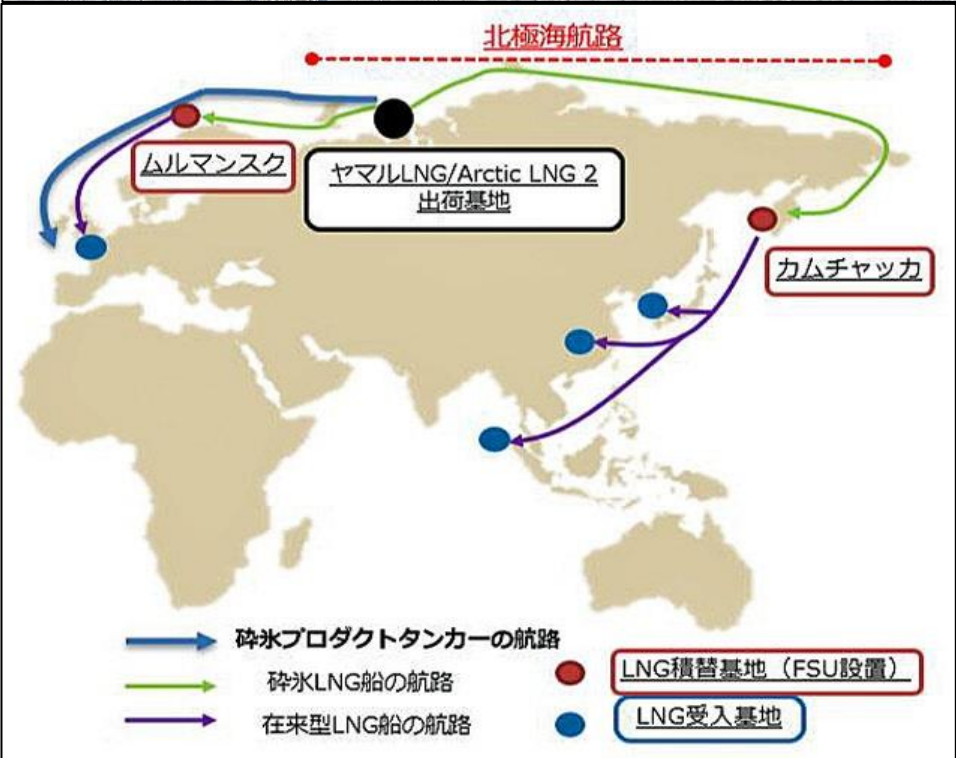
商船三井の砕氷タンカー
3隻(韓国)+1隻建造中(中国)



中央環境審議会 総合政策部会

資料6

気候変動と安全保障：論点について



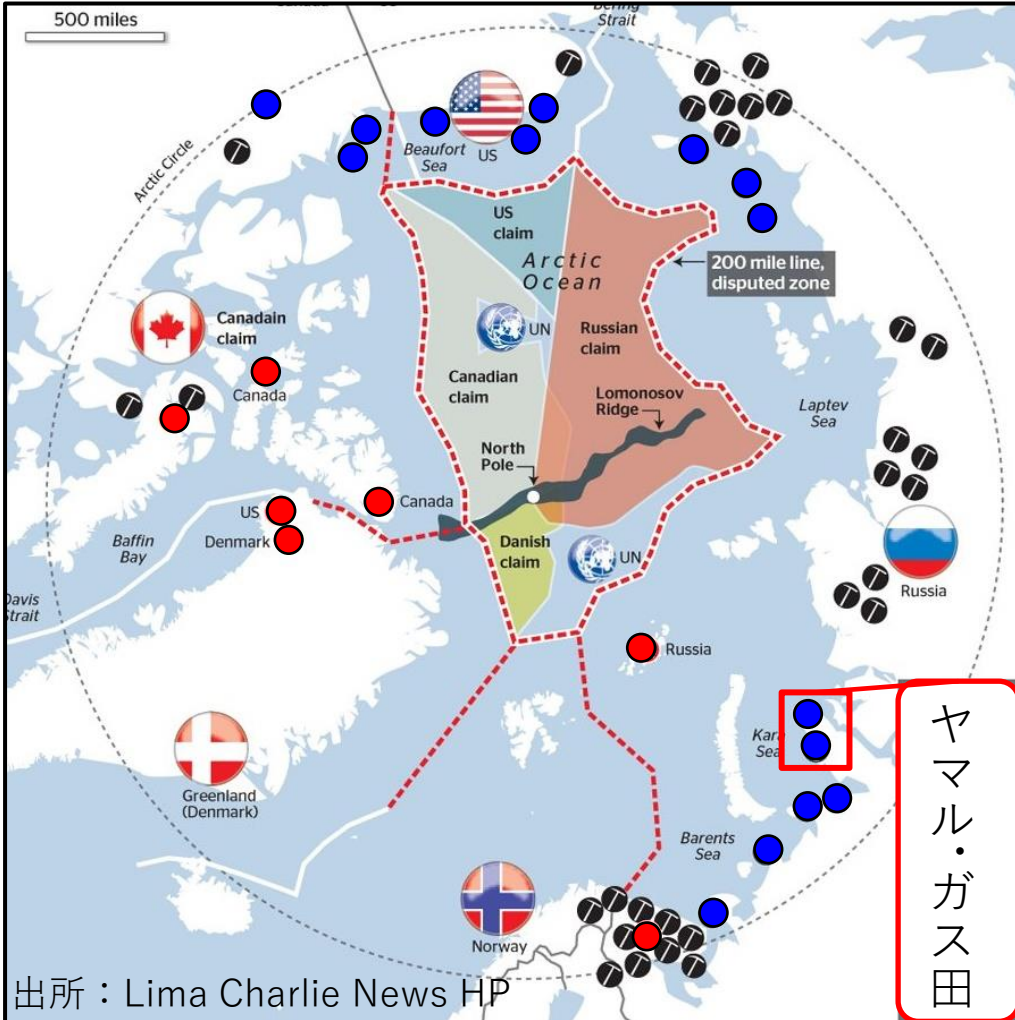
5.11.24

防衛省 防衛研究所 小野 圭司

北極海での軍の活動

——ロシア・NATO・中国——

- ・石油・天然ガス…露歳入の1/3
- ・鉱物：金、銀、銅、錫、鉛、亜鉛
タングステン、ニッケル
- ・北極海航路は無料⇔運河は有料



ヤマル・ガス田

●：軍事基地、●：石油・天然ガス田、⊗：鉱山

●天然資源と北極海航路

- ・気温上昇に伴う北極海での経済権益拡大
- ・中国海軍艦艇も北極海を航行

●ロシアによる北極海進出

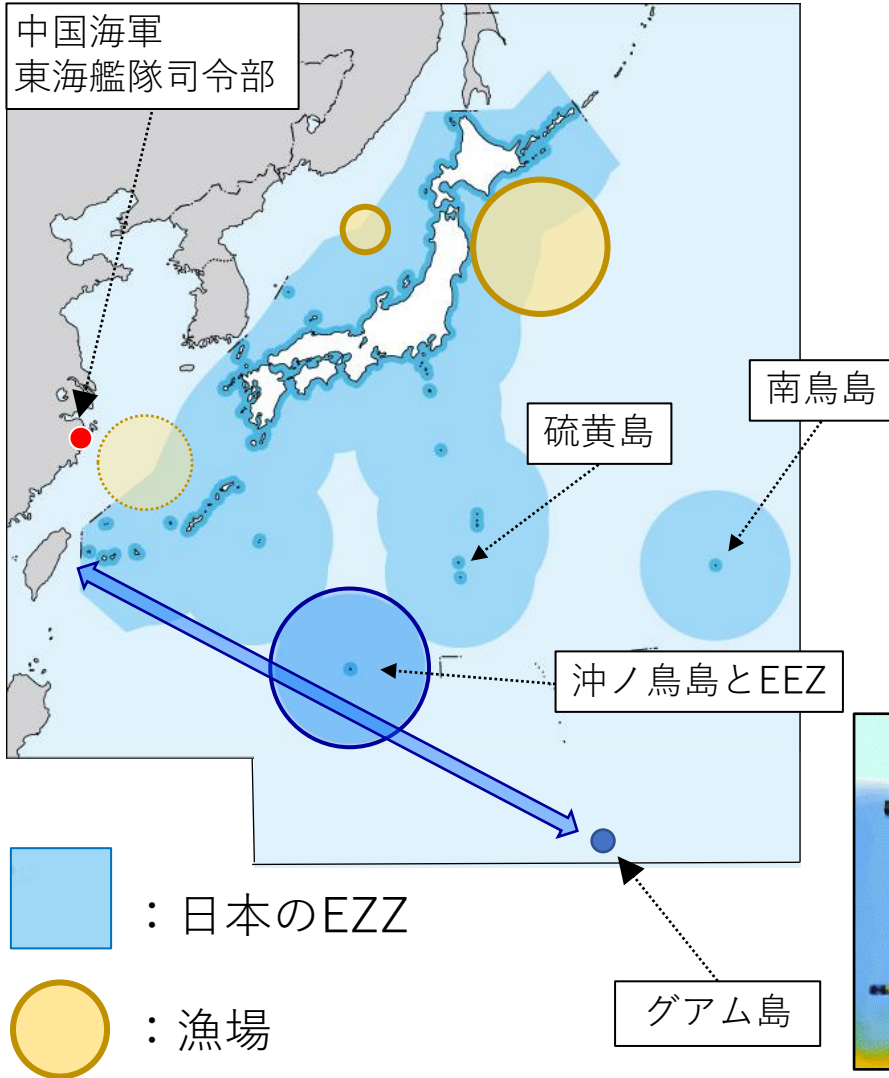
- ・訓練、寒冷地対応装備の強化
- ・爆撃機の哨戒飛行復活(事前通告拒否)

●NATOの対応

- ・バレンツ海で米英が「航行の自由作戦」
- ・米爆撃機のバレンツ海での哨戒飛行開始
- ・アイスランドに米哨戒機配備
- ・フィンランド、スウェーデンのNATO加盟

地球温暖化と地政学

——沖ノ鳥島の戦略性——

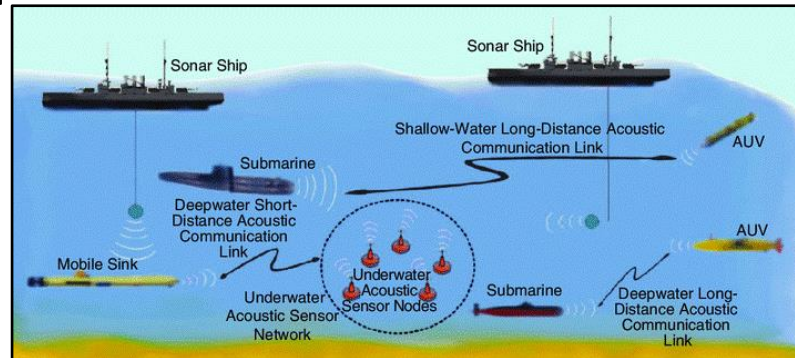


● 沖ノ鳥島と周辺海域

- ・ 400,000 km² EEZ > 日本の国土面積
- ・ 中・韓・北朝鮮は岩礁(島ではない)と主張
- ・ 海面上昇による水没の危険

● 沖ノ鳥島の戦略的位置

- ・ 台湾/沖縄とグアムの中間
- ・ **中国海軍**の動向



地球温暖化と軍の災害対応

——派遣から能力構築へ——

2023年の能力構築支援(HA/DR関連)

ラオス(1/23～2/3)

ASEAN(1/30～2/24)

ラオス(3/2～8)

モンゴル(5/29～31)

パプアニューギニア(6/27～7/13)

ラオス(9/24～10/8)

モンゴル(10/23～27)

フィリピン(10/23～27)

インドネシア(10/24～27) 出所：防衛省HP

2019年：6ヶ国＋ASEAN/8件、2020年：3ヶ国＋ASEAN/4件
 2021年：4ヶ国＋ASEAN/5件、2022年：8ヶ国/10件
 2023年(10月まで)6ヶ国＋ASEAN/9件

●異常気象/災害支援

- ・短期：難民支援、長期：能力構築支援
- ・課題等：**軍の負担増**(災害支援疲れ)
 →支援から能力構築へ＋**米豪との協力**
- ・海辺の基地の水没危機・・・米国での懸念

●再生可能エネルギーの導入

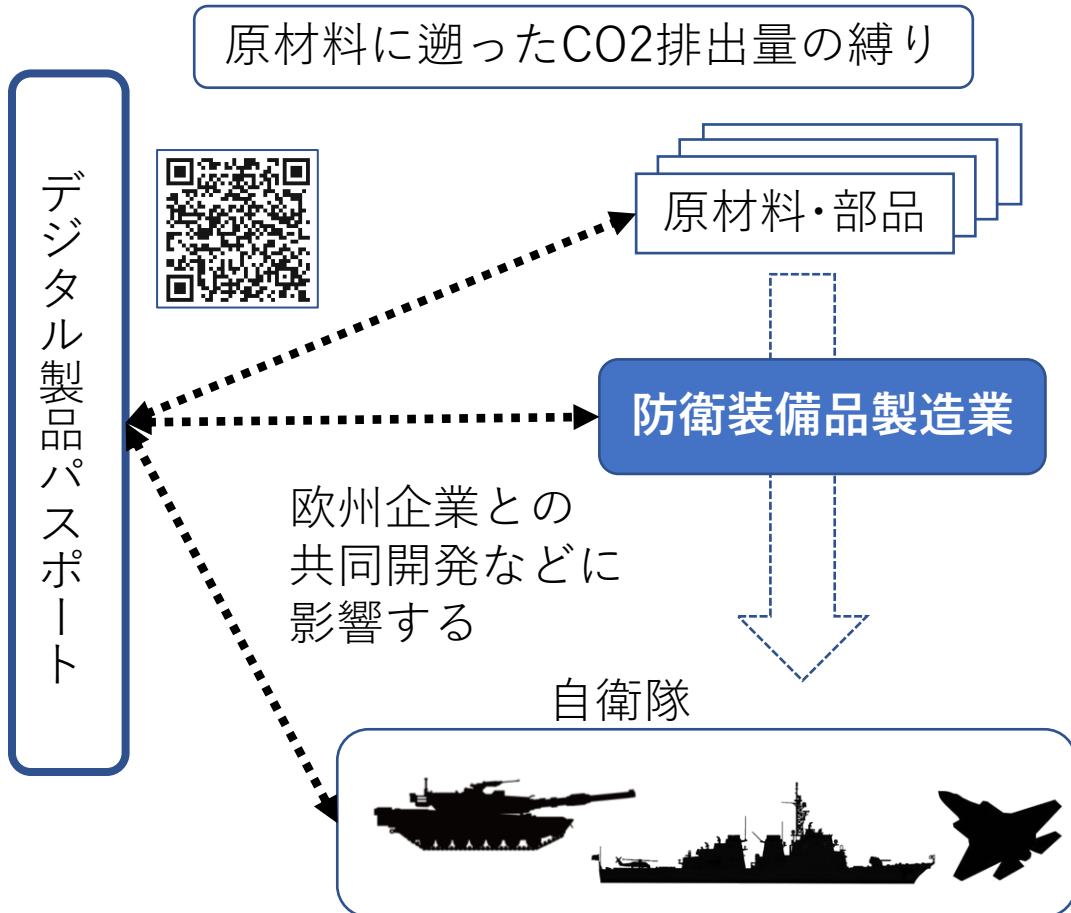
- ・基地の強靱性向上(電力自給化/震災の教訓)

●バイオ燃料導入

- ・課題等：技術上(出力)・補給上の問題
 →「**バイオ難民**」発生が悪循環

デジタル製品パスポート

——非対応企業は排除される危険——



●EUのデジタル製品パスポート(DPP)

- ・製品/製造機械の環境特性明示の義務
- ・防衛装備品/製造機器にDPPの縛りの可能性

●「防衛装備品・技術移転協定」の締結

- ・英、仏、独、伊、スウェーデン、豪、印、ASEAN
- ・英国：ミサイル、RFセンサー(無人機探知)
- ・フランス：機雷探知システム
- ・英・伊：次期戦闘機

⇒DPP非対応の企業は今後排除される危険